

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和4年2月10日

事業所名: 発達サポートるっか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		放課後等デイサービスの送迎時間帯や長期休業期間により利用人数が増加した時は、多機能事業所(生活介護)で協働し送迎や現場の手伝いなど応援職員を配置し対応をしています。	より細やかな支援の提供のために人員が必要な場面があります。今までと同様に応援体制を整えて対応していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			今後も清掃・消毒を徹底し、感染対策に取り組みながら、利用されるお子様方が安心・安全に過ごせる場となるよう努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		月1回の職員会議の実施や朝礼時等に職員間の情報共有を行っていますが、PDCAサイクルを活用した業務改善としては不十分な部分があるため、今後実施できるよう努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回の保護者様のアンケート結果より見えた問題点の改善を図るよう努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		1年に1回、自己評価、保護者評価を行い、評価結果はホームページで公開しています。	今後、事業所の活動の様子等もホームページに公開していきたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者による外部評価は行っていないですが、保護者様からいただいたご意見や自己評価の結果をもとに業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		公開療育への参加やリモート等での勉強会・研修会に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		お子様の事業所での様子や保護者様からの聞き取りを基に事業所で作成した独自のアセスメントを実施しています。また、お子様の成長・発達やニーズに応じた児童発達支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行なうよう努めています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		お子様の状況に応じ、必要な項目をガイドラインの支援内容から選択するなどして一人一人に合わせた支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿って、お子様一人一人に合わせた支援の提供に努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎日の活動プログラムは月ごとに保育士を中心に検討・立案を行なっています。行事や医療的ケアの必要なお子様への活動や対応については看護師と連携して検討・立案を行なっています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月、制作活動やスポーツ活動、ゲーム、季節に合わせた行事活動等の様々な活動を立案・実施しています。また繰り返し行なう活動も大事にしながら、お子様方の発達状況に合わせ内容やプログラムを工夫し提供するように努めています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			今後も個別活動と集団活動を含めた目標設定を行い、集団活動のみではなくお子様の年齢や成長・発達段階に応じ、一人一人に合わせた個別活動の充実を図れるよう努めていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前に全体リーダー、療育進行者と役割を決め、当日の朝礼でリーダーを中心に全体の流れや担当等の打ち合わせを実施しています。	一日のスケジュールについてはホワイトボードをし活用して打合せをしていますが、活動に関して詳細な打ち合わせが出来ていないこともあるため、活動の詳細を確認できるように工夫していきたいと考えています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		職員間での打ち合わせは必要に応じて振り返りや気付いた点などの話し合いを実施していますが、毎日実施出来ていません。今後は、職員全員で打ち合わせをする機会を増やしていくよう努めていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々、支援に沿った記録をとり、児童発達支援管理責任者が記録の漏れがないか確認を行ない、支援の検証や改善に繋げています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		1年に2回以上のモニタリングを実施し、必要に応じて児童発達支援計画の見直しを行なっています。	
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議は児童発達支援管理責任者が出席しています。また医療ケアの必要なお子様の会議へは可能な限り看護師も参加するよう努めています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談支援員を中心とし、必要に応じて担当者会議や電話連絡、紙面での情報共有を行なっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		相談支援員を中心とし、必要に応じて担当者会議や電話連絡、紙面での情報共有を行なっています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		利用開始前にお子様の主治医からの情報提供書の提出を依頼し、それを基に当院医師との連絡体制を整えるよう努めています。	今後は主治医との連携を密にとれるような体制作りを検討していきたいと思っています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	相談支援員を中心に必要に応じて担当者会議や電話連絡、紙面での情報共有を行なっています。	個々の併用事業所(特に保育園)との連携については不十分であるため、今後、検討していきたいと思っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校や特別支援学校との情報共有は保護者を介して実施しています。	今後、進学に合わせ移行支援シート等を活用し、学校との情報共有に努めていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育に参加し、他事業所等との連携や支援方法への知識を深め、日々の活動へと繋げていけるよう努めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		現在はコロナ感染防止対策として交流活動は行なっていませんが、必要に応じて今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		現在のところ参加していませんが、必要に応じて参加できるよう努めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回利用後、送迎時や連絡帳を通じて、保護者様への情報提供(事業所でのお子様の様子等)を行い、情報共有できるよう努めています。また、必要に応じてお子様の発達に並び、介助方法等の検討等を保護者様と一緒にこなしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	ペアレント・トレーニングは実施していませんが、保護者様からの相談内容について、一緒に改善策を検討したり、助言を行なっています。	ペアレント・トレーニングを専門的に学んだスタッフを配置していないため、支援は行なえていません。必要に応じて今後検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前や契約時に個別で説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		お子様やご家族様の希望や要望を十分にくみ取りと共にアセスメントシートを基にお子様の状態に応じた児童発達支援計画を作成し、保護者様に対し支援内容の説明を行い同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎時、定期的な面談等を通じて、お聞きした悩みや相談に対し、速やかにアドバイス、助言等を行なえるよう努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	以前は保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けていますが、今年度もコロナ感染防止対策として保護者会を中止させていただきました。保護者様有志で調理方法の検討会を開催された際は試供品や資料、栄養士からの情報を提供させていただきました。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れがあった場合、主に児童発達支援管理責任者が電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回、ご家庭におたよりを配布し、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		毎年、保護者様に個人情報取り扱いについて説明を行い、了承を得て同意書に署名・捺印をいただいています。また、写真や名前の掲載など個人が特定されるものに関してはその都度保護者様に確認をいただいています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様との意思疎通が適切に図られるよう、お子様一人一人の特性に応じてわかりやすい言葉での説明や視覚的アプローチ、選択方式を取り入れながらコミュニケーションをとるよう努めています。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現在はコロナ感染防止対策として地域との交流活動は行なっていませんが、必要に応じて今後検討していきます。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルは作成していますが、訓練が不十分でした。今後、定期的に様々なパターンで訓練し、マニュアルの確認、必要な修正を行なうよう努めていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		病院全体の避難訓練は行なっていますが、事業所として様々な状況を想定しての訓練が不十分であり、疑問や問題点もあるため、今後訓練を重ね、必要に応じてマニュアルの更新を行なっていきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始前に主治医からの情報提供書や保護者様への聞き取り、母子手帳・お薬手帳で確認させていただいています。母子手帳やお薬手帳の内容に変更があった時はその都度持参いただきコピーをいただいています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用開始前や契約時にアレルギーについて口頭で確認を行っています。食物アレルギーの診断のあるお子様は現在いらっしゃいませんが、アレルギー疑いのあるお子様に対しては別メニューにて食事提供をさせていただいています。	今後、アレルギー診断のあるお子様に対しては医師の指示書の提出を依頼させていただきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハットの情報は職員間で共有していますが、事例集の作成には至っていません。今後、検討していきたいと思います。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内で虐待防止研修に参加した職員による情報伝達会・勉強会を開催しています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		児童発達支援計画とは別紙にて身体拘束について保護者様に生命または身体の保護のため、車椅子などのベルトやテーブルの装着などについて説明をし、了承を得て同意書に署名・捺印をいただいています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)